

「望ましい富士登山の実現のための指標・水準」これまでの実績値

資料 2-3

望ましい富士登山の在り方		指標	登山口	実績									水準 (2024年までの 目標値)	これまでに実施した取組
視点	区分			第一期					第二期					
				2015	2016	2017	2018	2019	2021	2022	2023			
17世紀以来の登拝に起源する登山の文化的伝統の継承	頂上付近で御来光を拝む場合には、途中の山小屋で宿泊・休憩していること	伝統的な登拝の登山形態と同様に、山小屋で休憩してから山頂で御来光を拝む登山者の割合	全体	69.0%	68.2%	77.7%	82.0%	77.3%	80.9%	88.8%	87.6%	80%以上	<ul style="list-style-type: none"> <li>山小屋で休息して山頂を目指す啓発を含む動画による広報</li> <li>弾丸登山の自粛や山小屋休息の推奨</li> <li>弾丸登山禁止のチラシ・ポスターを作成、外国人登山者にも呼掛け</li> </ul>	
	特定された山麓の巡礼路・登山道からの登山が行われていること	古くからの巡礼路としてルートが特定されている吉田口登山道における山麓からの登山者の割合	吉田	11.9%	13.7%	12.4%	11.7%	9.3%	5.6%	7.5%	9.6%	15%以上	<ul style="list-style-type: none"> <li>山麓からの登拝啓発を含む動画による広報</li> <li>馬返からの伝統的な登山の神聖さをPR</li> <li>中の茶屋(休憩所)のおもてなしを周知</li> </ul>	
	山麓の神社・霊地等と登山道とのつながりが認知・理解されていること	山麓の神社や湖などを巡ったのちに富士登山をする文化的伝統を知っている登山者の割合	全体	32.9%	39.0%	47.0%	38.6%	43.1%	41.9%	42.5%	38.6%	50%以上	<ul style="list-style-type: none"> <li>山麓や五合目施設等での神社・湖を巡る伝統的な巡拝の啓発を含む動画による広報</li> <li>世界遺産巡りガイドマップ(日・英版)の配布</li> </ul>	
		<b>富士山に「神聖さ」を感じた登山者の割合</b>	全体	<b>83.0%</b>	<b>88.2%</b>	<b>85.9%</b>	<b>82.2%</b>	<b>83.2%</b>	<b>88.3%</b>	<b>86.6%</b>	<b>88.2%</b>	<b>90%以上</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li><b>飲食・ゴミのマナー啓発</b></li> <li><b>御庭・奥庭、御中道の散策ガイダンス促進</b></li> </ul>	
登山道及び山頂付近の良好な展望景観の維持	山小屋・防災関連の施設等の登山者のための施設が自然と調和していること	自然と調和しない人工構造物による登山道沿いの景観阻害	全体	なし	非調和的要素が予見又は発見されない	<ul style="list-style-type: none"> <li>登山道、下山道の巡視と維持管理</li> <li>富士山レンジャー等による啓発活動の実施</li> </ul>								
	浸食・植生等の変化による展望景観への影響が抑制されていること	五合目以上における登山道の浸食や植生等の変化による展望景観の変化	全体	なし	負の影響が予見又は確認されない	<ul style="list-style-type: none"> <li>登山道の巡視と維持管理</li> <li>種子の防除マット設置</li> <li>植生モニタリング調査</li> </ul>								
登山の安全性・快適性の確保	登山装備・登山マナー等が理解されていること	登山道や山頂付近でゴミをよく見かけた登山者の割合	全体	—	26.8%	19.6%	19.3%	22.4%	17.6%	14.0%	29.0%	15%以下	<ul style="list-style-type: none"> <li>Twitter等による呼掛け</li> <li>安全誘導員や富士山レンジャー等の巡視強化</li> <li>売店・山小屋の協力による注意喚起</li> <li>お盆等の混雑日における外国人へ周知</li> </ul>	
		人的要因による文化財損傷の件数	全体	1件	0件	2件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	<ul style="list-style-type: none"> <li>文化財パトロール等による巡視</li> <li>マナーガイド等での周知</li> </ul>
	<b>(案) 登山者の不適切な行動に不満を感じた山小屋の割合</b>	全体	—	—	—	—	—	—	—	—	—	●%	<b>新規</b>	
	過剰な登山者数による混雑・危険・不満を感じない登山ができること	吉田口から登山し、誤って須走口に下山した人の割合(須走口五合目富士山ナビゲーター対応実績)	吉田須走	0.72% (981人)	0.48% (731人)	0.54% (928人)	0.92% (1,389人)	0.61% (936人)	0.49% (266人)	0.43% (404人)	0.54% (742人)	0.4%以下	<ul style="list-style-type: none"> <li>下山道分岐点で誘導員配置</li> <li>音声ガイドの継続</li> <li>ガイドンス強化</li> </ul>	
<b>山小屋やトイレなどの登山者への支援施設に不満を感じた登山者の割合</b>		全体	—	<b>19.1%</b> (トイレ)	<b>19.3%</b> (トイレ)	<b>21.9%</b> (山小屋)	<b>21.4%</b> (トイレ)	<b>10.0%</b> (トイレ)	<b>12.6%</b> (山小屋)	<b>13.9%</b> (トイレ)	15%以下	<ul style="list-style-type: none"> <li><b>保全協力金を利用したトイレの改善</b></li> <li><b>コロナ交付金を活用した山小屋修繕</b></li> </ul>		
夏山期間を通じて著しい混雑が発生する登山者数/日*を超えた日数 *吉田口:4,000人/日 富士宮口:2,000人/日		吉田	4日	4日	5日	6日	6日	0日	0日	0日	3日以下	<ul style="list-style-type: none"> <li>効果的な混雑回避啓発動画(30秒)の作成</li> <li>混雑予想カレンダーの更新</li> <li>カレンダーや動画のHP・SNS掲載による混雑日の日程変更促進</li> </ul>		
	富士宮	3日	2日	4日	—	3日	0日	0日	0日	2日以下	<ul style="list-style-type: none"> <li>※2018:富士宮口の8/14以降のデータが欠損、8/13までに2,000人を超えた日はない</li> </ul>			